

シャボン玉ってどうやつたらできるの？

4月から預かりの時間では外遊びの時間にシャボン玉ができるように準備をしています。「今日は、シャボン玉をしてみようかな？」「この前は小さいのが沢山出来たから今度は大きいシャボン玉をつくろう！」時には友達がやっていることを観察してみたり、シャボン玉の大さい小さい、強い弱いなど、いろいろなことを考えてみたり…シャボン遊びを繰り返し行う中で、気づきや学びが沢山あつた様子が見られました。



シャボン玉が出来た♪



作って、壊して…
シャボン玉って楽しいな♪



なんで僕のはできないの？



先生、見てみて～♪
こうやってしたら沢山出来たんだ～



見てみて～
透明な膜が出来てる！



泡だけになるとシャボン玉ってできない
んだね…



僕も大きいシャボン玉ができた！
作って壊して…



シャボン玉の液がなくなってきたら…
泡がだらけだ！



走ってみてもできるよ～



よく見ると、膜の中が動いてる～
なんだろう。面白いな～



私も挑戦！見てみて～
まずは、大きく息を吸って…



出来たら自分で壊しちゃお！



泡でも振ってみたらできるかな？



（もう～できた！）



砂も入れたらどうなるかな？



ふつ～って優しく息を出して…



自然と液を付けることも順番で待つこと
が出来るようになつたよ♪



繰り返し遊んでいると一回付けただけ
で、何回もできるようになつたよ♪



もう一回！



シャボン玉ができるたびに液が少なくな
って…どうする？



お姉ちゃんと一緒に！



くるくる回ってもくっついしたシャボン玉
ができるんだよ！



いつもと違う玩具でもシャボン玉作りに
挑戦少しおいしいなあ～



たまには場所も変えてしてみると楽しい！



水を足してみる？
水を足すと…？

繰り返しシャボン玉遊びをする中で、「今日は、こうしてみよう！」「今日は観察してみよう」その日によって子ども達の中で遊び方や感じ方が変化していました。すきつりとした晴れの日、雨が降りそうな曇り空…天気によって、また、シャボン玉の液の状態によってでき方や壊れ方が違うこともあります。場所を変えてみたり、玩具を変えてみたりする中でいろいろな発見もありました。最初は自分からシャボン玉の液を付けたがっていた子ども達。繰り返す中で保育者に言われなくとも自然と順番でするとよいことも学びました。



大きいシャボン玉を作る時にはこうやって作る上手くできるよ！



シャボン玉遊びのよう預かり保育では、ゆっくりとした時間の中で遊びを繰り返すことができます。たまには違う遊びを楽しむながらもまた、次の日にはまた挑戦してみる。子ども達は繰り返し遊ぶ中で「なんか昨日とは違う」「今日は、上手にできた！」と比べることや「○○お姉ちゃんは上手だな。僕も！」と言うように観察することを学びます…一見、変わらない毎日にも見えますが、子ども達は繰り返す中でいろいろなことを感じ学んでいることを私自身も改めて感じているシャボン玉遊びです。

シャボン玉液が少なくなると、いつの間にか泡遊びに…そうだ！泡で遊ぼう♪

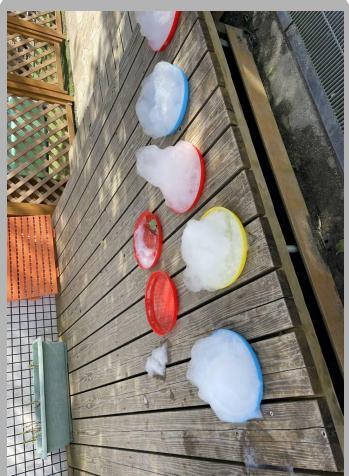


かき氷みたい！

ああ～泡が落ちそうだよ～



葉っぱを乗せてみたよ♪



あわあわがいいっぱい！



あわあわ大盛りー皿



シロツメグサも素敵だよ♪



かき氷？お料理？
素敵なおわあわ料理のフルコース♪



私ものせてみようかなぁ～♪



色をつけたらどうなるかな？
やってみよう!!



シロツメグサのせわわわ
～ピンクのお花ものせて～



どうぞ召し上がり
～あわわレモン🍋!?ソースがけ～



あわあわ少なめ
～三つ葉のクローバーを添えて～



あわあわメイン
～みどり少なめ～



ぱるぱるしててる～



あわあわやわらかめ
～葉っぱミックス～



色をつけてみたよ♪
紫色の泡になつた～😊



うわあ～おもしろ～い☆

シャボン玉から発展した泡遊び。異年齢の関わりも沢山見られた遊びでした。年中、年長さんが息を吹き掛け、泡を作っていると「どうしてできるの？なんでききないの？」と質問攻めの年少さん。「こうやってやるんだよ～」と教える年中、年長さん。「葉っぱのせたら料理みたい～」と年長さん。「色も付けてみたい！」と年中さん。「どうやつたら色がつくの？」とまたまた質問攻めの年少さん。沢山の会話を楽しみながら、また、教え、教えて、遊び姿を見られた泡遊びです。今後もいろいろな色を作りながら楽しんでいきたいと思います。



紙の上に泡をのせてみたよ♪

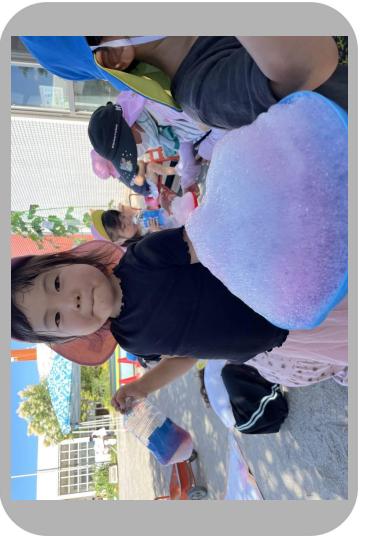


こちらも召し上がり
～いちご！クリーム黄色花を添えて～



泡がぶちぶちしてて～

色をつけてみると見立てて遊ぶ姿が見られました。「なんかわたあめみたいだね～」の一言からわたあめづくりが始まりました。年少のお友達が「わたあめ作りま～す。お砂糖入れて…（砂）葉っぱものせたら…出来上がり♪」と言葉にしながら作っていると、年中、年長さんも、「わあ～美味しいそうだね～にじいろだね～」となんともほっこりする会話も聞かれましたよ♪ 泡でも色を混ぜてみると色が変化して…色の混ざりも楽しむ姿が見られました。



わたあめみたい♪